

# 市民対話集会「ふれあいトーク」報告書

主催：倉吉市関金公民館（いきいき希望塾）  
とき：平成30年7月30日（月）13：30～15：00  
ところ：関金総合文化センター 営農相談室  
テーマ：「第11次倉吉市総合計画  
【後期基本計画】について」



<主な意見について（抜粋）>

## 1 活気に満ち、豊かな心と文化が息づくまち（教育・文化・コミュニティ）

◆鴨川中学校は特別教室にはエアコンが付いていますが、普通の教室には付いておらず、不安に感じています。そうした設備について、市や学校はどのように整備を進めていくのでしょうか。

➤ これからの暑さを考えると早急に整備しなくてはならないと考えている。いろんな自治体で普通教室へのエアコン整備が進められている。倉吉市では特別教室を優先して整備してきたが、普通教室も計画的に進めていく。保健室等の休みやすい場所の整備もしていかなければならない。

◆まちづくりの主要課題の中に「子どもを持つことを応援」とありますが、子どもを生みやすい環境にするために行われていることについて教えてください。

➤ 市としては保育料減免や給食費の減免等の助成制度がある。また、子育て支援センターや保育所等で、子どもを持つ人たちのいろんな悩み・不安を相談出来る機会を設けたり、安心して子どもを預けられる環境を整えたり、経済的な部分以外のサポートも行っている。

## 2 いきいきと働くことができるまち（産業）

◆廃業した旅館の源泉がそのままになっているところがあるという話を聞いたのですが、経営を希望する人に使ってもらったりレジャー施設にしたりといった活用方法についてどう思われますか？

➤ 他の人に使ってもらうのは非常に良い考え。しかしながら、それを使いたいという人が出てこないという現状もある。いろんな企業へも声掛けはしている。せっかくの資産を有効活用するのは大切なこと。これからしっかり考えていきたい。

◆円形劇場くらしフィギュアミュージアムは今どのくらいの人が入場されていますか？円形校舎をフィギュアミュージアムにしようと思った理由はなんですか？

➤ フィギュアミュージアム入場者は6月末時点で約1.7万人。円形校舎は現存している中で最も古く、非常に価値があり、明倫の方々にとってシンボリックなもの。グッドスマイルカンパニーが西倉吉にやってきた際、倉吉博物館で催されたフィギュア博覧会では、約2.5万人の方が来場された。非常に面白いものである、ということで明倫の方々の中かでフィギュアミュージアムとしてやっていこうという話となったのがきっかけ。倉吉の観光の重要なスポットとして、たくさんの人に来てもらえるようになれば。

## 3 倉吉ってどんなまち？

◆倉吉の良さはなんですか。

➤ 倉吉市の名前が「暮らし良い」から来ているという説があり、駄洒落のようにも聞こえるが、実際に暮らしやすい場所であると思う。大きな災害も少なく、人間関係も穏やかで人付き合いがしやすく、街も歴史も風情がある。この良さが評価されれば、もっともっとにぎやかになるのでは。そういう良さをもっと感じてもらえるような、まちづくりを進めていきたい。

◆関金には地域おこし協力隊が2名来られました。活動内容と成果について教えてください。

➤ 2人とも、非常によく頑張っていた。1人目は手作り文化祭（今も続けている）等、賑わいづくりの取組、あるいはそのきっかけづくりに尽力いただいた。また、わさびの商品化や販売にも頑張っていた。2人目は料理が上手で、そうした方向で関金のPRをしていただいた。関金温泉1300年祭では実行委員会副会長をされ、盛り上がり貢献していただいた。秋には3人目の選考を行う予定。2人のやってきたことを引き継いで、関金を盛り上げていただくような取組を期待したい。